



スパ・西浦モーターパーク予定地

ト場「スパ・西浦モーターパーク」の建設が発表された。事業内容にある「学校教育にない交通安全教育」とはどういうものか。

また、交通渋滞等への対策、経済効果等はどうか。

答 交通安全教育は、車両衝突や制動の実演、プロドライバーによる走行実演や同乗体験など、机上ではなく、実体験による有意義なものとなると思う。

イベント時には1000台、2000人の観客が見込まれ渋滞は必至。企業側もパーク&ライドの実施、時間差解散などの対策を検討

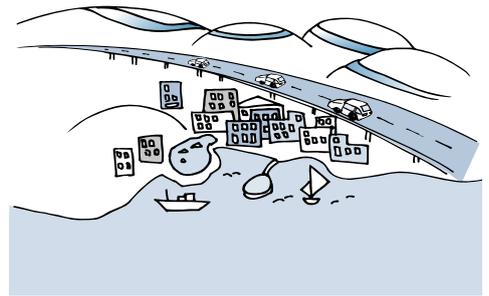
討しており、市も警察と連携し対策にあたりたい。経済効果は、具体的な試算はしていないが、来場者の宿泊、飲食、給油所や各種小売店利用などかなりの効果があると考えている。

大向正義（未来の会）

指定管理者制度について

問 指定管理者制度は、民間の活力や技能を公の施設の管理運営に生かして、住民サービスの向上と経費削減を図ることが目的である。しかし、市は、公募の範囲を原則市内に事務所または事業所を有する法人・団体に限定し、閉鎖的なものとした。制度の趣旨を達成するためには、必要な制限は例外規定とし、入り口は広くするべきではないか。

答 この制度により、施設管理の選択肢が大幅にふえたが、経済性だけを重視することがベストだとは考えていない。市税を主な財源とする委託料が、可能な限り市内で循環する形態



を望むものである。協働のまちづくりという考えから、地元と密着した施設は、地元と一体となり管理運営されることが望ましく、この制度を住民参加のきっかけにしたいと考えている。

柴田安彦（日本共産党）

福祉給付金の自動払い実施を

問 福祉給付金は、障害者や市民税非課税のひとり暮らし老人などの医療費を無料にする制度である。蒲郡市では、事前の認定手続きと受診ごとに医療機関の証明が必要で、半年ご

とに払い戻しの手続きをしなければならない。一度の登録で、自動的に支給される「自動払い」制度を実施すべきではないか。

答 自動払いの実施は、受給者の利便性向上、医療機関や市の事務量の軽減に効果があると認識している。しかし、実施に当たっては、医療費未払い者に対しても福祉給付金を支払うことになることや現行のシステムを変更する必要があることなど、解決しなければならぬ問題がある。

これら問題解決の方策を早急に検討する中で、周知の期間等も含め平成18年度実施に向け検討したい。



喚田孝博（新政クラブ）

福祉有償運送と西田川凱旋橋早期改築について

問 昨年3月の国の通達により、福祉有償運送の実施には平成18年3月までに当該自治体の運営協議会設置・協議、事業者の運輸局許可を受けることが必要となった。その影響と対応について伺う。

答 社会福祉協議会が行っている送迎サービスが許可を受ける必要がある。運営協議会を8月か9月に立ち上げ、10月頃には認可申請するよう調整している。

問 西田川の河川改修の効果を高めるために、残る凱旋橋の早期改築が必要と考えるがどうか。

答 地権者との話も前進してきており、平成21年度完成に向けて管理者の県と連携、調整をとりながら事業推進を図りたい。

その他の質問
1 東港周辺整備